

2025年5月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 株式会社ミモナ 上場取引所 東
 コード番号 7117 URL <http://www.mimona.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 道夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 徳山 博 TEL 0736 (25) 6639
 中間発行情報提出予定日 2025年2月28日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年5月期中間期の業績（2024年6月1日～2024年11月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	1,882	△1.6	114	△42.3	116	△43.6	79	△38.3
2024年5月期中間期	1,913	△16.4	198	△53.2	207	△51.0	129	△54.0

（注）包括利益 2025年5月期中間期 79百万円（△38.3％） 2024年5月期中間期 129百万円（△54.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期中間期	266.46	-
2024年5月期中間期	431.99	-

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期中間期	2,523	1,425	56.5
2024年5月期	2,058	1,345	65.3

（参考）自己資本 2025年5月期中間期 1,425百万円 2024年5月期 1,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	0.00	0.00	0.00
2025年5月期	0.00		
2025年5月期（予想）		0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,741	0.8	153	△55.4	150	△57.9	97	△58.5	323円95銭

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年5月期中間期	300,000株	2024年5月期	300,000株
-------------	----------	----------	----------

② 期末自己株式数

2025年5月期中間期	-株	2024年5月期	-株
-------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年5月期中間期	300,000株	2024年5月期中間期	300,000株
-------------	----------	-------------	----------

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化、インバウンド需要の増加により、景気は緩やかに回復してきておりますが、中東情勢の悪化等の不安定な国際情勢、人件費や物流コストの高騰などを背景にした物価上昇の懸念により、国内経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような情勢の中、当社グループでは主力商品である「アウトドアスパイス ほりにし」は今期も好調を維持しております。「ほりにし Artist Collection」や「ほりにし監修 ぶちぶちレモンマスタード」「アウトドアスパイス ほりにし ミックスナッツ プレミアム」など、当中間期に新商品の販売を開始いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は1,882,496千円（前年同期比1.6%減）、営業利益は114,798千円（前年同期比42.3%減）、経常利益は116,705千円（前年同期比43.6%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は79,938千円（前年同期比38.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

アウトドアスポーツ事業

アウトドア関連商品市場全体としての調整局面も散見され、当事業の売上高は1,794,335千円（前年同期比0.9%減）、営業利益は93,192千円（前年同期比47.8%減）となりました。

工業用製品事業

セキュリティインク需要が低迷傾向であり、当事業の売上高は88,161千円（前年同期比15.0%減）、営業利益は21,606千円（前年同期比6.0%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は2,523,886千円となり、前連結会計年度末に比べ465,387千円増加しました。流動資産は2,087,438千円となり、前連結会計年度末に比べ458,652千円増加しました。これは主に、商品及び製品が283,982千円、受取手形及び売掛金が230,168千円増加し、現金及び預金が85,267千円減少したことによるものであります。固定資産は436,448千円となり前連結会計年度末に比べ6,735千円増加しました。これは主に、無形固定資産が4,661千円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は1,098,792千円となり前連結会計年度末に比べ385,449千円増加しました。流動負債は1,007,493千円となり、前連結会計年度末に比べ399,540千円増加しました。これは主に、買掛金が111,109千円、短期借入金が270,000千円増加したことによるものであります。固定負債は91,299千円となり前連結会計年度末に比べ14,090千円減少しました。これは主に、長期借入金が14,280千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,425,094千円となり前連結会計年度末に比べ79,938千円増加しました。これは親会社株主に帰属する中間純利益79,938千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は364,564千円となり前連結会計年度末に比べ85,268千円減少しました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は312,725千円となりました。これは主に税金等調整前中間純利益121,007千円、売上債権の増加額230,168千円、棚卸資産の増加額281,310千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,990千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出21,168千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は236,956千円となりました。これは主に短期借入金の純増加額270,000千円、長期借入金の返済による支出32,440千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国における今後の経済情勢につきましては、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締めによる為替変動などの景気影響への下振れリスク、エネルギーコスト・原材料価格の高騰に伴う物価上昇、人件費の高騰など依然として厳しい環境が続くと予想されますが、インバウンド需要は今後も上振れ傾向に向かうとも予想されます。

このような状況の下、当社グループの主力商品である「アウトドアスパイスほりにし」シリーズの新商品の売れ行きは好調を維持しております。当中間期のみで110万本以上、シリーズ累計で770万本以上販売しており、今後も新商品の企画、開発によって更なる売上高の増加に努めてまいります。また、当社グループの実店舗であるOrangeのブランド力をより一層高めてまいります。他の競業店舗との差別化を図り、お客様により一層満足いただける店舗を構築してまいります。さらにデジタル領域におきましても、成長し続けるEC市場への対応を最優先に取り組んでまいります。

以上を踏まえ、当連結会計年度の連結業績予想につきましては、売上高3,741百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益153百万円（前年同期比55.4%減）、経常利益150百万円（前年同期比57.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益97百万円（前年同期比58.5%減）を予想しております。

上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の状況等によって実際の業績は予想された内容から変動する可能性があります。業績予想の変更の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	540,056	454,788
受取手形及び売掛金	394,594	624,762
商品及び製品	673,169	957,152
仕掛品	141	126
原材料及び貯蔵品	10,730	8,074
その他	25,149	58,151
貸倒引当金	△15,057	△15,617
流動資産合計	1,628,786	2,087,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	112,616	114,012
機械装置及び運搬具	47,574	44,333
土地	194,752	196,689
その他	52,650	63,227
減価償却累計額	△127,515	△134,242
有形固定資産合計	280,078	284,018
無形固定資産		
ソフトウェア	6,290	13,151
ソフトウェア仮勘定	2,200	-
無形固定資産合計	8,490	13,151
投資その他の資産		
繰越税金資産	68,340	68,566
その他	72,803	70,711
投資その他の資産合計	141,143	139,277
固定資産合計	429,712	436,448
資産合計	2,058,498	2,523,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,546	269,656
短期借入金	250,000	520,000
1年内返済予定の長期借入金	46,720	28,560
未払法人税等	36,804	41,993
賞与引当金	2,706	4,538
その他	113,175	142,744
流動負債合計	607,952	1,007,493
固定負債		
長期借入金	97,860	83,580
退職給付に係る負債	4,309	5,102
その他	3,220	2,616
固定負債合計	105,389	91,299
負債合計	713,342	1,098,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	1,335,155	1,415,094
株主資本合計	1,345,155	1,425,094
純資産合計	1,345,155	1,425,094
負債純資産合計	2,058,498	2,523,886

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
売上高	1,913,621	1,882,496
売上原価	1,187,696	1,122,872
売上総利益	725,925	759,623
販売費及び一般管理費	527,005	644,824
営業利益	198,920	114,798
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	1,088	904
為替差益	8,390	-
保険解約益	-	5,875
その他	908	677
営業外収益合計	10,387	7,457
営業外費用		
支払利息	2,229	2,085
為替差損	-	3,364
その他	34	100
営業外費用合計	2,263	5,550
経常利益	207,044	116,705
特別利益		
固定資産売却益	2,071	4,301
特別利益合計	2,071	4,301
税金等調整前中間純利益	209,115	121,007
法人税、住民税及び事業税	76,652	41,294
法人税等調整額	2,864	△225
法人税等合計	79,517	41,069
中間純利益	129,598	79,938
親会社株主に帰属する中間純利益	129,598	79,938

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
中間純利益	129,598	79,938
中間包括利益	129,598	79,938
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	129,598	79,938

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	209,115	121,007
減価償却費	12,925	13,903
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	357	560
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	366	793
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,121	1,832
受取利息及び受取配当金	△1,088	△904
支払利息	2,229	2,085
為替差損益 (△は益)	△8,390	2,508
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,071	△4,301
保険解約益	-	△5,875
売上債権の増減額 (△は増加)	△320,389	△230,168
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△239,767	△281,310
仕入債務の増減額 (△は減少)	41,796	111,109
その他	△15,823	△6,678
小計	△318,618	△275,438
利息及び配当金の受取額	1,088	904
利息の支払額	△2,229	△2,085
法人税等の支払額	△120,687	△36,106
営業活動によるキャッシュ・フロー	△440,446	△312,725
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,206	△1,200
定期預金の払戻による収入	15,806	1,200
有形固定資産の取得による支出	△30,229	△21,168
有形固定資産の売却による収入	2,709	8,909
無形固定資産の取得による支出	△4,180	△6,237
保険積立金の解約による収入	-	11,771
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△16,834	-
その他	△6	△265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,940	△6,990
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	351,822	270,000
長期借入金の返済による支出	△61,422	△32,440
その他	△603	△603
財務活動によるキャッシュ・フロー	289,796	236,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,390	△2,508
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△193,200	△85,268
現金及び現金同等物の期首残高	588,551	449,832
現金及び現金同等物の中間期末残高	395,350	364,564

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間損益計算書計上額 (注) 1
	アウトドア スポーツ事業	工業用製品事業	計		
売上高					
eコマース	769,897	-	769,897	-	769,897
店舗運営	236,869	-	236,869	-	236,869
卸売	791,740	103,688	895,428	-	895,428
その他	11,425	-	11,425	-	11,425
顧客との契約から生じる 収益	1,809,933	103,688	1,913,621	-	1,913,621
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,809,933	103,688	1,913,621	-	1,913,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,809,933	103,688	1,913,621	-	1,913,621
セグメント利益	178,529	20,390	198,920	-	198,920

(注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間損益計算書計上額 (注) 1
	アウトドア スポーツ事業	工業用製品事業	計		
売上高					
eコマース	696,565	-	696,565	-	696,565
店舗運営	242,797	-	242,797	-	242,797
卸売	777,714	88,161	865,875	-	865,875
その他	77,257	-	77,257	-	77,257
顧客との契約から生じる 収益	1,794,335	88,161	1,882,496	-	1,882,496
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,794,335	88,161	1,882,496	-	1,882,496
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,794,335	88,161	1,882,496	-	1,882,496
セグメント利益	93,192	21,606	114,798	-	114,798

(注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。